

こんにちは。
株式トレーダーの川合です。

本日も動画をご覧いただき、誠にありがとうございます。

さあ、本日の動画では、私の命とも言うべき、ツールについて解説します。

このツールがすべてのお膳立てをしてくれるので、
あとはツールの結果を見て、
あなたは証券会社でトレードするだけ・・・
というシロモノです。

私のトレードを支える強力な武器です。

どうぞ最後までお付き合いください。

その前にまずはこれまでの動画の復習をします。

前回と前々回の動画では、私の2つの手法を解説しました。

1つめの手法である「急騰銘柄傍受システム」は、
その名の通り、絶対に無理だと言われ続けた
急騰銘柄の初動を捉えることに成功した手法です。

2つめの手法である「トルネード1%急降下砲」は、
9時15分から10時半までの75分間で、
1%の利益を狙う手法でした。

2つの手法を利用して、私がどのように収益をあげているのかを
チャートを見ながら解説しましたが、
どこを見て何をやるというルールが明快であり、
迷わず手を動かすことができることをご理解いただけたと思います。

早速、動画をご覧になった翌日からトレードに活かされた方も
多くいらっしゃったと思います。

さあ、お待たせしました。

これより、私のトレードを力強く支える「ツール」について解説します。

まず最初に解説するのは、「急騰銘柄傍受システム」専用のツールです。

名付けて「急騰傍受ツール」と言うのですが、
このツールの何がすごいかと言うと、
「上昇の強さ」と「継続の強さ」という独自の指標を採用し、
その強度を5つの星マークで表示させているという点です。

ですから、あなたは、
星が5つの銘柄のみをトレードする
星が3つ以上であればトレードする
など、ご自身でルールを決めてトレードするだけ。

ちなみにこのツールの裏側では、前々回の動画で解説したような
前日と当日におけるそれぞれの複数の条件を抽出するためのシステムが
日夜、フル稼働しているのですが、
あなたがその条件の詳細を毎度確認する必要はありません。

詳細を知らなくても上昇の強さと継続の強さという2つの指標さえあれば、
急騰銘柄の初動を捉えることができます。

それでは画面を見ながらご説明します。

「急騰傍受ツール」「トルネード1%ツール」について解説していきます。

最後にこちらのツールを使ってのリアルトレードの様様もお送りしますので、
ぜひ最後までご覧ください。

前回のおさらいです。

「急騰銘柄傍受システム」とは急騰する銘柄の初動を掴み、短時間で大きな利益を取って行く手法です。

トレード時間：9時から15時まで終日

市場：グロース市場、スタンダード市場

手法スタイル：デイトレード

目標利益：3%～5%

状況、銘柄により大きく異なります。

時にはストップ高持ち越しで、

一気に2日～3日で50%獲れるようなこともあります。

もう少し「急騰銘柄傍受システム」の詳細な条件を解説します。

こちらは「急騰傍受ツール」に落とし込んでいる

「急騰銘柄傍受システム」のロジックです。

前提条件

◇日足チャートのチェック

- ・上昇トレンドの判定、パーフェクトオーダー判定
- ・前日の5本移動平均線（MA）との位置関係

◇低位株チェック（400円以下の銘柄を排除）

◇過去20間の流動性

◇過去20日間の平均Tickランキング

リアルタイム条件

◇前日との出来高量の比較（%表示）

◇上場来高値・年初来高値（付近 or 更新）情報

◇1分足（上昇強度算定）

- ・上昇率
- ・上昇（陽線）の連続性

- ・ 出来高増加率
- ・ 上ヒゲ、下ヒゲ

これらの項目を数値化・ポイント化して上昇強度を算定しています。

これらの「急騰銘柄傍受システム」の条件に合致した銘柄をもっと効率よく見つけられないだろうか。

そこで、これまで多くの方に支持されてきた、私が過去に作った私のトレードロジックを組み込んだ「居合抜きツール」「トルネード1%ツール」「TMチャート」(川合の水平線の引き方を自動的にチャート上へ引いてくれるツール)などの開発ノウハウを生かし「急騰銘柄傍受システム」専用の「急騰傍受ツール」を開発しました。

ツールで使用する株価データは、東京証券取引所と直接契約をし、全銘柄のデータを1秒単位で取得して分析しています。

「急騰傍受ツール」の裏側ではリアルタイムで取得したデータを用いて膨大な計算をしたうえで、急騰条件に合致した銘柄を表示します。

◇注目銘柄

- ・ 上昇トレンド、パーフェクトオーダーの銘柄
パーフェクトオーダーというのは、長期線、中期線、短期線の並びにある上昇トレンドであることを表します。

◇5 2 Weeks 高値 5%以内

5 2 Weeks 高値 更新

- ・ 上場来高値、年初来高値に近い、あるいは更新したことが一目でわかるよう表示します。

◇上昇強度・継続時間

◇前日出来高比

- ・ 上昇強度継続時間、それから前日出来高との比較の多さを表示します。

◇前日 5MA 差異

- ・ 5本移動平均線との位置関係を色分けで表示、良い銘柄がわかります。
緑色は5MAからのスタートとなる可能性がある、
つまり上昇しやすい状況にあるということ。

ただし、目視で見ることも必要なので目視でチェックをして、
5MAからスタートしていれば本当に強いので、
そこを狙っていくということになります。

例えばこの日、

「助川電気工業」が9時13分に、

「モダリス」が9時19分に

シグナルが点灯しました。

「助川電気工業」高値更新をしているのでエントリー。

あとはもう伸びていくということです。

こちらは「モダリス」。

前日5MA差異が14.1%ですが、

目視で見ると5MAからのスタートでとても良い形です。

そしてシグナル点灯。

若干押し目を待ってそして反発を確認してエントリー。

それで10%以上獲っていけるといいことです。

この日だけでも他にも良い銘柄はたくさんありました。

5MAスタートの銘柄があったのであれば、

そこでエントリーをしていくと勝ちやすいということです。

「急騰傍受ツール」には「スイング切り替え手法」があるので
こちらでも紹介します。

日足がとても安い位置でのシグナルから株価2倍反転を狙う手法です。

日足がすごく下がっているところで出来高が急激に増えると

「急騰傍受ツール」でシグナルが点灯し

反転開始の合図となることがよくあるので、それを狙っていきます。

例えば去年1年間だけで7回も2倍に到達しました。

今年も何回も到達しています。

例えば「HENNGE」。

2022年3月17日にシグナルが点灯しました。

ここからエントリーをしてどんどんどんどんと上がっていき

2倍に到達しました。

こちらは2021年3月18日。

この安い位置でシグナル点灯。

この日にエントリーして獲ってもいいですし、

スイングで持っていれば2倍に到達。

2.44倍で十分な利益が獲れました。

「アイドマ・ホールディングス」2022年2月21日シグナル点灯。

この下落の中でもすごく上がっていたので出来高が急激に増えました。

ここでエントリーしました。

損切りはここで5%ぐらい。

このまま持っていて1.7倍まで上昇。

2倍に到達はしませんが十分な利益となりました。

「WAQOO」2022年2月28日シグナル点灯。

エントリーをしてなかなか上がっていかないけれど損切りにかからず。

少し長くかかりましたが一気に上昇開始で2.4倍の上昇となりました。

「エッジテクノロジー」2022年3月14日シグナル点灯。

IPOで少し揉んでいたのですがシグナル点灯しました。

そして5MAの上に浮上し、持っていれば3.36倍をわずか2週間で到達。

「モダリス」2022年5月10日シグナル点灯。

陰線で終わっていますが朝型に結構伸びて出来高が急激に増え、そのまま持っていて、損切りに掛からずに1.82倍です。

82%伸びて十分な利益となりました。

◇トレードルールは簡単です。

- ・判断

シグナル点灯時、日足安い位置（安値更新）or
下げ止まっている銘柄であることが確認できたら、
翌日の寄り付きかザラ場でエントリー。

- ・利確

基本は任意で決済。
ただし、2倍程度を狙えることもありますので損小利大を意識してください。

- ・損切

シグナル点灯日の安値より少し下に置く。
※損切り幅は少し大き目（5%以上となるケースが多い）た、
許容できる株数で行う。

「どのぐらい稼げるか」ということですが、勝率は結構高く7割です。

複利で計算します。

負けた場合は5%、勝った場合は100%ですから、損失1に対して利益20。
1対20の新勝利大の手法ですので、負けを許容しても全然問題ないということです。

これを7回繰り返すだけで1億2,400万円です。

もちろんこの額ではなく100万円ずつ入れていくだけでも、
100万円が800万円となります。

それぞれ賭け方はいろいろありますが、
しっかりと安い位置でのシグナル点灯をスイングに切り替えて、
2倍を狙っていただければと思います。

ただ「急騰傍受ツール」がなくても、
急騰する銘柄の条件をおわかりいただけたと思います。

条件に合った銘柄をコツコツと探すことで、十分勝ち続けることが可能となります。

ぜひチャレンジし、利益を積み重ねてください。

続きまして「トルネード1%ツール」について解説します。

ツールの驚異的な精度を明らかにします。

(前回のおさらい)

1日の市場の流動性の変化。
これは、毎日同じような流れが繰り返されています。

そして「トルネード1%急降下砲」が勝ちやすい理論的背景、
10時半まではしっかり上がったら落ちやすい、
下がったら上がりやすいという特徴があります。

上がって利益確定する人がいる。

利益確定する人がいると、飛び乗った人は損切りするために下がりやすいので一気に加速します。

「トルネード1%急降下砲」では実際の利益率は1%といわず平均は2~3%、多い時は一撃で10%の利益を獲ることも結構あります。

「トルネード1%急降下砲」では「対象銘柄」を探し9時15分から10時30分まで銘柄を監視し続ける必要がありますが、多くの銘柄を見ていると「トルネード1%急降下砲」の対象となるチャンス銘柄を見逃すこともありますし、ましてや、お仕事や家事に追われていたら銘柄を監視するどころではありません。

「そこにお金が落ちているのに拾えない。」

そんな悔しい思いをしないうちに「トルネード1%ツール」を開発しました。

そうです。

「トルネード1%ツール」があなたの代わりに対象銘柄を探し、「トルネード1%ツール」があなたにトレードチャンスを知らせてくれます。

それでは実際にツールの画面をご覧ください。

こちら「急騰傍受ツール」と同じく東京証券取引所と直接契約し、リアルタイムでデータを取得し、分析し、条件に合致したら、シグナルが点灯します。

一番左側の緑の枠の中が銘柄情報エリア。

ここに「前日出来高比」そして「前日5MA 差異」。つまり前日5MAサインが上がりやすい位置にあります。

そして「シグナルエリアシグナル」。

シグナルは1から4まであり、シグナル4が最も精度が高くなってきます。

こちらの画面はスマートフォンでも見られます。

また、メールアドレスを登録しておく、シグナル情報がメールで届きます。

例えばシグナルが出ました。

10時14分 から10時22分のシグナル。

「モイ」

実はここで出て、ここで獲れているんですね。

さらに10時14分シグナル点灯、そしてエントリー。

日足は崩れているのでこのままどんどんどんどん下落していく。

6%下落ですけど、この辺りで利益確定でも十分ですね。

3%弱ぐらいですかね。

もうここで10時半前なので落ちやすいです。

「ビクスタ」

ちょうどいい所でシグナルが点灯ですね。

でも前日は大陰線で青い。

どんどんどんどん下落してきました。

こういう場合は落ちやすいです。

そして朝上がっていくけども10時半前ガンと落ちます。

これだけでも十分ですね。

たかだか30分で10%下落しています。

「東京通信」

これはすごかったですね。

18%も下落しました。

同じ日でこれだけの銘柄が下落しています。

伸ばせる時は一気に獲っていけるということになります。

はい、それでは「急騰傍受ツール」「トルネード1%ツール」を使っ
てのシグナルからリアルトレードの様相をこれから解説します。

2022年5月25日、1日のトレードとなります。

朝からシグナルがどんどん点灯していました。

「急騰傍受ツール」

9時8分にシグナル点灯「クリアル」。

上昇トレンド中であるこの赤のマークが出ています。

非常にいい場所にいます。

というのは、ここをブレイクしているんで素直にエントリーしました。

エントリー後はどんどんこの5MAにまた支えられ上がっていくと。

早送りでお送りしています。

いったん下がったので一部、利益確定をしました。

と思ったらどんどんさらに上がっていくで、ここでまた利益確定しました。

まだ上がっていきますので、ここで利益全てを確定しました。

合計3万2568円ということであつという間に獲れましたということです。

なんで利益確定をしたかというと

「トルネード1%ツール」で売りのシグナルが出ました。

ですので、利益確定かつ売りトレードをします。

あんまり株数は入れなかったのですが、

どんどん下がってくれたので1万2851円の利益と。

買いで獲って、売りでシグナルに従ってエントリーして、
売りで獲っていったということです。

はい「急騰傍受ツール」で次の銘柄でトレードをしました。

「マーキュリー」 9時47分にシグナルが点灯。

上場来高値付近にいます、あるいは高値更新したところですね。
一気に上がってきたところを検知してエントリー、どんどん上がっていく。

日足が非常にいい場所で、5MAからのスタートで高値更新をしたら
非常に強くなる可能性があります。

高値更新をしたので、どんどんどんどん上がっている状況です。
ここでもう一度買い増しをしました。

買い増しをしてさらに上がってくれたので、一部、利益確定をしました。

はい、ちょっと下がってきたので、
もう一回上がってくれないかなと思ってここで買い増しをしました。

少しずつなにか弱くなってきた感じも見えてきたので、
またエントリーしてこの辺で全部利益確定もしました。

1万8000円ほどの利益です。

こちらは見てなかったのですが、シグナル点灯した「QD レーザー」。

これは動いている動画ですが、止まって見えます。
なぜかというと特別気合が出て、一気にストップ高に到達。
翌日もストップ高で、翌日も高く上がって、なんと2日間で50%急騰。
たまにこういうのが出ます。

素直にエントリーをして一気に獲っていく。

このストップ高だけでも十分。

10%以上獲れますので、これだけでもいいと思います。

「トルネード1%ツール」シグナルでのリアルトレードの様様です。

まずここでエントリーしました。

エントリーしたらガンと下がって特別売り気配がきて、

なんと1万1000円ほどの利益が乗っています。

一部、利益確定をしました。

もう一部も利益設定をしてどんどん下がっていきます。

もっと伸びていますね。

502円で利益確定しました。

その後、放置していたら上がってシグナルが点灯したので、

あれと思ってもう一回見て素直にエントリー。

自信があったからナンピンをして、

引っ掛からずにどんどんどんどん落ちて下落が開始しました。

下落してくれたと思ってここで8,000円の利益確定です。

この日は1日4トレードでプラスの8万3773円。

元本100万円でこれだけの利益を獲ることができました。

ストップ高銘柄の「QDレーザー」は「急騰傍受ツール」のシグナルで

獲らなかったのがもったいなかったのですが、

十分な利益を獲ることができた日となりました。

はい、このように非常にいいポイントでシグナルを点灯してくれる

ツールの威力を体感いただけたいと思います。

以上で終わりたいと思います。

最後までご視聴くださいますて、ありがとうございました。

さあ。

本日の動画では、

「急騰銘柄傍受システム」と「トルネード1%急降下砲」のそれぞれの専用ツールについて解説をさせていただきました。

どちらも私の強力な武器であり、利益を加速させ、トレード時間を短縮させる最愛のパートナーでもあります。

そして近い将来、あなたがこの2つのツールを手に入れ、相場で戦う姿を想像してみてください。

私の手法を使いこなし、いつでも、どこでも、思い通りに相場からお金を作り、そして余った時間で、本当にあなたがやりたいことに全力でチャレンジする。

そんな未来を担保する、強力な2つのツールを間もなくあなたは手にすることとなります。

さて、次回の動画なのですが、

私の3つの手法の最後の手法である

「水平線1分間スキャル連打」について解説させていただきます。

実はこの「水平線1分間スキャル連打」は

2022年に入ってから完成された最も新しい手法です。

1日に平均して5回ほどのトレードチャンスがあり、

1日の目標利益は、トルネード1%急降下砲と同様に1%を狙います。

エントリー箇所と損切りポイントが明確であり、
あらかじめエントリー注文と損切り注文を入れておけるので
日中、忙しい人でも「兼業トレード」が可能。

そんな最新手法である「水平線1分間スキャル連打」を解説します。

どうか次回の動画も絶対に見逃さないようにしてください。

動画の下にご感想欄がありますので、
そちらに、本日の動画をご覧になったご感想を入力してください。

ご感想には私がすべてに目を通し、私がひとつひとつ返信させていただきます。

また、ご感想を入力していただいた方には、
心を込めてプレゼントをさせていただきます。

●急浮上の値動きをごっそり収益化

ReSurface ギャップアップ投資法

損切りラインが超限定されながらも
相場が再浮上していく値動きをごっそり利益化する
川合オリジナルの投資法を伝授します。

前日終値と当日寄り付きに価格差が生じることをギャップと言います。
いわゆる窓です。

投資家たちのお金が集まるからこそ、そのギャップ（窓）が起こるのですが
私はいつもそこから低リスクで利益を得ています。

例えるのであれば、損失1に対して利益9の比率でリターンを狙い、
相場に集まるお金をごっそり回収しています。

株式相場には利益化できるポイントがいくらでもあります
ここまで理論化された投資法は有料であってもなかなか売られていないと思います。

今回の動画講座のテーマは無料です。

どこまでも無料にこだわり、私の鉄板トレード法を詳細に無料でお教えします。

具体的なルールを洗いざらい全てお教えしますので、どうぞ検証しまくっていただき、
そして明日からのトレードに役立っていただければと思います。

今すぐご感想を入力し、必ずプレゼントを受け取ってください。

改めまして、本日は動画をご覧くださりありがとうございました。

それでは、次回の動画でまたお会いしましょう。